

管理の課題に係る資源管理基本方針等での対応について

	項目		ステップ1以降での 確認・検討事項	ステップ2以降での確認・検討事項
①	資源評価		資源評価精度向上の取組	・引き続き精度向上に努める。
②	管理方法	・漁獲シナリオ ・管理の対象範囲 ・管理期間	資源管理基本方針に定めた漁獲シナリオ、管理の対象範囲、管理期間をステップ1、2の期間に試行/検証の上、課題を把握し、必要に応じて資源管理基本方針を見直す。	・ステップ3に入るまでに左記の内容について引き続き検討を行う。
		・配分案の検討	都道府県・大臣管理区分の配分枠が足りなくなった際、操業を止めざるを得なくなる状況を回避するため、適切な留保枠を設定する。	・留保枠の設定 都道府県・大臣管理区分の配分枠が足りなくなった際、操業を止めざるを得なくなる状況を回避するため、適切な留保枠の設定を試行する。 ・留保枠からの追加配分 都道府県・大臣管理区分の配分枠が足りなくなった際、操業を止めざるを得なくなる状況を回避するため、<u>適切な時期に留保枠から追加配分できる手法を構築する。</u> ステップ2で試行し、留保枠の配分量や適切な配分方法を検討し、手法を確立させる。
		・予期せぬ加入量の変動等による漁獲可能量の追加	漁獲可能量追加のための水政審への諮問答申を念頭にTACの総量の追加を試行し、課題点を把握し、必要な改善を行う。	・TACの総量の追加配分 留保枠からの追加配分により、当該留保枠が足りなくなった際、操業全体を止めざるを得なくなる状況を回避するため、<u>適切な時期の水政審への諮問答申を念頭にTACの総量の追加を試行する。</u> ステップ2で試行し、適切な手法を確立させる。
③	TAC報告	・現場の負担感を軽減するデジタル化	漁獲情報のワンスオンリーに向けたデータ利活用や収集体制を検討、体制構築を推進する。	・TAC報告状況の確認・情報収集体制について、事務負担軽減に向け、都道府県や団体等の声を踏まえ、国のシステムの更なる改善に引き続き取り組む。